

3

言語活用科の推進

1 言語活用科グランドデザイン

【めざす児童生徒の将来像】

論理的・批判的思考力やコミュニケーション能力を身につけ、グローバル化する社会で活躍できる児童生徒

【言語活用科の目標】

- ・自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる 【ロジカルシンキング】
(結論を裏付ける理由があるか、その理由は妥当か。項目立てて整理されているか。等)
- ・相手の伝えようとしていることを理解することができる 【クリティカルシンキング】
(相手の意見を正確に受け止められているか。「論理的か、偏りがいないか」を意識できているか。等)

日本語分野

【日本語分野の目標】

- ・考えたり表現したりする方法を工夫し、自分の意見をわかりやすく伝える力を身に付ける
- ・相手が伝えようとしていることを理解する力を身に付ける

書く力を
きたえよう

各教科・領域
M I M 等

《中学校》 思考・表現の基礎を活かす

	「書く」を含む 意見を言う 伝えよう	わかりやすく 伝えよう	分析しよう	その人になつて 考えよう	高めよう 高めよう	批判的思考力 を高めよう
中3	●	●	●	●	●	●
中2	●	●	●	●	●	●
中1	●	●	●	●	●	●

《小学校》 思考・表現の基礎を学ぶ

	「書く」を含む 意見を言う 伝えよう	わかりやすく 伝えよう	分析しよう	その人になつて 考えよう	話の要点を とらえよう	批判的思考力 を高めよう
小6	●	●	●	●	●	●
小5	●	●	●	●	●	●
小4	●	●	●	●	●	●
小3	●	●	●	●	●	●
小2	●	●	●	●	●	●
小1	●	●	●	●	●	●

英語分野

【英語分野の目標】

- 《中学校》
英語を使って、自分の意見をわかりやすく伝える力を身に付ける
- 《小学校》
英語を学ぶ楽しさを知り、英語学習の基礎的な力を身に付ける

《中学校》

英語を使うⅡ

「Matsudo Language Arts Teaching Plan」で
4技能を身につけよう 活用しよう
(Listening, Reading, Speaking, Writing)

「LAT」と学習しよう

《小学校》

高学年・英語を使うⅠ

【外国語科】

ジョリーフォニックス

中学年・英語に慣れる

【外国語活動】

ジョリーフォニックス

低学年・英語にふれる

ジョリーフォニックス

小学校から中学校までの「一貫した」ことばの教育

学校生活や日常生活に活かす

2 日本語分野

【単元と目標一覧】

全ての単元に、指導案やパワーポイント資料が準備されています

小学校 (実施時数)	単元名	タイトル	目標 (育成したい力) ※年間計画の作成や、通知票の所見欄に使用できます
1年 (3)	- 1 意見を言おう	好きか嫌いかを上手に言おう	質問に対し、結論を先に述べることができる。
	- 2 意見を言おう	理由をつけて伝えよう	具体的な理由をあげて意見を言うことができる。
	- 3 意見を言おう	ナンバリングでゲー!	意見を、ナンバリングを使った理由と共に言うことができる。
2年 (3)	- 1 分析しよう	絵を分析しよう	絵の中の情報を根拠にして、自分の考えを述べることができる。
	- 2 話の要点をとらえよう	メモを取る力をつけよう	メモを取る目的を理解し、聞いたことをメモすることができる。
	- 3 わかりやすく伝えよう	大事な言葉でわかりやすく	情報を整理して、正確でわかりやすい報告をすることができる。
3年 (3)	- 1 意見を言おう	理由をはっきりと	具体的な理由をあげて意見を言うことができる。
	- 2 話の要点をとらえよう	メモをもとに話を再現しよう1	メモをもとに、話を再現することができる。
	- 3 その人になって考えよう	その人になって考えよう1	場面や状況を読み取り、それぞれの立場に立って考えることができる。
4年 (3)	- 1 分析しよう	写真を分析しよう	写真の中の情報を根拠にして、自分の考えを述べることができる。
	- 2 わかりやすく伝えよう	シンキングツールで考えよう	シンキングツールの使い方を理解し、活用することができる。
	- 3 わかりやすく伝えよう	説明の達人1	情報を整理して、相手にわかりやすい説明ができる。
5年 (5)	- 1 意見を言おう	事実と意見	事実と意見を区別することができる。
	- 2 意見を言おう	賛成か、反対か	自分の立場を明らかにし、相手の意見に反論することができる。
	- 3 意見を言おう	マイクロディベート	相手を説得するために、理由を考え伝えることができる。
	- 4 「批判的思考力」を高めよう	隠された情報を見抜こう!!	提示された意見や情報に対して、批判的に考えることができる。
	- 5 意見を言おう	書く力を鍛えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。
6年 (5)	- 1 話の要点をとらえよう	要約しよう	情報を整理し、一つの単語や文にまとめて要約ができる。
	- 2 分析しよう	2枚の絵を分析しよう	項目ごとに絵画を分析し、タイトル(結論)をつけることができる。
	- 3 意見を言おう	書く力を鍛えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。
	- 4 わかりやすく伝えよう	5W1Hで正確に伝えよう	情報を5W1Hで整理し、正確な報告をすることができる。
	- 5 その人になって考えよう	その人になって考えよう2	視点を変えて、文章で表現することができる。
全学年	意見を言おう	書く力を鍛(きた)えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。

中学校	単元名	タイトル	目標 (育成したい力)
1年 右より4 コマ 選択	- 1 復習	ガイダンス	言語活用科日本語分野の学習内容を理解することができる。
	- 1 批判的思考力を高めよう	批判的思考力を高めよう	提示された意見や情報に対して、批判的に考えることができる。
	- 1 わかりやすく伝えよう	国旗の説明をしよう	情報を整理して、相手にとって分かりやすい説明の仕方をするすることができる。
	- 2 わかりやすく伝えよう	聞き上手になろう	相手の話を受け止めて、話題を引き出す方法を学ぶことができる。
	- 3 わかりやすく伝えよう	スピーチをしよう	表現方法を工夫し、自分の考えを明確にしたスピーチができる。
	- 4 わかりやすく伝えよう	ミニプレゼンテーションをしよう	構成を工夫し、自分の考えを分かりやすく伝える方法を学ぶことができる。
	- 1 分析しよう	「星月夜」を分析しよう	根拠をもとに、自分の考えを表現することができる。
	- 1 思考力を高めよう	比較しよう1	より良い選択に繋がる比較の仕方を学び、根拠を明確にして説明できる。
	- 2 思考力を高めよう	比較しよう2	情報を集めて分類し、比較する方法を学ぶことができる。
	- 3 思考力を高めよう	シンキングツールで目標を決めよう	シンキングツールを活用し、目標を決めることができる。
1年 必修	意見を言おう	書く力を鍛えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。
2年 右より4 コマ 選択	- 1 意見を言おう	質問や反論で深く理解しよう	相手の考えを理解するための効果的な質問をすることができる。
	- 1 分析しよう	「落穂拾い」を分析しよう	根拠をもとに、自分の考えを表現することができる。
	- 2 分析しよう	グラフから情報を読み取ろう1	資料から情報を読み取る方法を理解することができる。
	- 3 分析しよう	グラフから情報を読み取ろう2	資料から情報を読み取り、自分の考えをもつことができる。
	- 1 思考力を高めよう	シンキングツールで課題を解決しよう	シンキングツールを活用し、身近な課題を解決することができる。
	- 2 思考力を高めよう	シンキングツールで目標を設定しよう	シンキングツールを活用し、目標を設定するための手立てを考えることができる。
2年 必修	思考力を高めよう	正しく推論しよう	推論の基本となる三段論法について、理解することができる。
3年 右より4 コマ 選択	意見を言おう	書く力を鍛えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。
	- 1 意見を言おう	マイクロディベート	物事をメリット・デメリットの観点から考え、説明できる。
	- 2 意見を言おう	互いの意見を取り入れよう	互いの意見を取り入れて合意形成をする方法を学ぶことができる。
	- 1 わかりやすく伝えよう	面接の練習をしよう	説得力のある自己PRをする方法を理解することができる。
	- 2 わかりやすく伝えよう	ワールドカフェで語り合おう	ワールドカフェの方法を理解し、互いの思いや考えを生かし合うことができる。
	- 1 分析しよう	「ラス・メニナス」を分析しよう	根拠をもとに、自分の考えを表現することができる。
	- 1 その人になって考えよう	自己PR文を書こう	客観的に自己分析することができる。
	- 1 思考力を高めよう	シンキングツールで発想を広げよう	マッピングの手法を理解し、発想を広げることができる。
3年 必修	意見を言おう	書く力を鍛えよう	自分の考えを、文型を用い、構成立てて書くことができる。

3 英語分野

(1) 小学校英語分野（ジョリーフォニックス）

【各学年の学習内容】

学年	内容	備考
1年	4 2の基本の音 ○基本の英語の音（音素）と文字の関係を学ぶ 第1グループ（s、a、t、i、p、n）6音 第2グループ（c、k、e、h、r、m、d）6音 第3グループ（g、o、u、l、f、b）6音 の18音について学習する。	言語活用科ワークブック （1・2年生） 15分（モジュール）× 18回 = 6時間扱い（生活科から）
2年	4 2の基本の音 ○基本の英語の音（音素）と文字の関係を学ぶ 第4グループ（ai、j、oa、ie、ee or）6音 第5グループ（z、w、ng、v、oo oo）6音 第6グループ（y、x、ch、sh、th th）6音 第7グループ（qu、ou、oi、ue、er、ar）6音 の24音について学習する。 ※「ee or」「oo oo」「th th」は2音を1回で扱うため、 24音を、21回で扱う。	言語活用科ワークブック （1・2年生） 15分（モジュール）× 21回 = 7時間扱い（生活科から）
3年	4 2音、アルファベットの復習 ○4 2音の復習とアルファベットの大小文字と小文字の関係を学ぶ ①短母音の復習（1）（短母音復習+短母音探し） ②短母音の復習（2）（短母音復習+文字当てはめ） ③小文字の復習（1）（音の復習+書き） ④小文字の復習（2）（音の復習+書き） ⑤アルファベットの練習（1）（S、A、T、I、P、N） D） ⑦アルファベットの練習（3）（G、O、U、L、F、B） ⑧アルファベットの練習（4）（J、Z、W、V、Y、X、 Q） ⑨大文字で扱う単語のブレンディング	言語活用科ワークブック （3・4年生） 15分（モジュール）× 9回 = 3時間扱い （総合的な学習の時間から） ※⑤～⑧については、国語科「ローマ字」を学習する前に実施することが望ましい。
4年	4 2音、アルファベットの復習 ○ダイグラフ（2文字で1音を表すもの）の復習 ①大文字で扱う単語のブレンディング ②ダイグラフの復習（ai、oa、ie） ③ダイグラフの復習（ee、or、ng） ④ダイグラフの復習（oo、oo、qu） ⑤ダイグラフの復習（ch、sh、ue） ⑥ダイグラフの復習（th、th） ⑦ダイグラフの復習（ou、oi） ⑧ダイグラフの復習（er、ar） ⑨いろいろなダイグラフのまとめ	言語活用科ワークブック （3・4年生） 15分（モジュール）× 9回 = 3時間扱い （総合的な学習の時間から）
5年	ひっかけ単語 ○ひっかけ単語（4 2音のルールでは読めない単語） ①ひっかけ単語（the） ②ひっかけ単語（I） ③ひっかけ単語（you、we、are） ④ひっかけ単語（he、she、is） ⑤ひっかけ単語（want、to、be） ⑥ひっかけ単語（do） ⑦ひっかけ単語（me） ⑧ひっかけ単語（5W） ⑨ひっかけ単語のまとめ	言語活用科ワークブック （5・6年生） 15分（モジュール）× 9回 = 3時間扱い （総合的な学習の時間から）
6年	同音異綴り ○同音異綴り（違う綴りで同じ読み方をするもの） ①同音異綴り（eeとよむy）※ダイグラフの復習含む ②同音異綴り（aiとよむay）※ダイグラフの復習含む ③同音異綴り（ieとよむy）※ダイグラフの復習含む ④同音異綴り（ieとよむigh）※ダイグラフの復習含む ⑤ ①～④の復習 ⑥同音異綴り（ホップオーバー e a e） ⑦同音異綴り（ホップオーバー e i e） ⑧同音異綴り（ホップオーバー e o e） ⑨同音異綴り（ホップオーバー e u e、e e）	言語活用科ワークブック （5・6年生） 15分（モジュール）× 9回 = 3時間扱い （総合的な学習の時間から）

LATの授業は生活科の時間の中でカウントしてください。

【重要なのは、ここでの学びを外国語活動や外国語科で活用することです。】

○3年生以上は、文字を見ると反射的に音がだせるようになることを目指して、毎時間の外国語活動、外国語科の導入で復習してください。所要時間は1分程度ですので、ぜひご実施ください。

- 例 ・第1～第7までのグループ単位で継続して行う。（いつも同じ順番ではなく、順番を入れ替えて行うことも効果的です）
- ・児童の実態に合わせて、覚えていない単語を中心に行う。

また、単語を自分の力で読めるようになるために、2～3単語を取り上げ、ブレンディングを行うことも有効です。

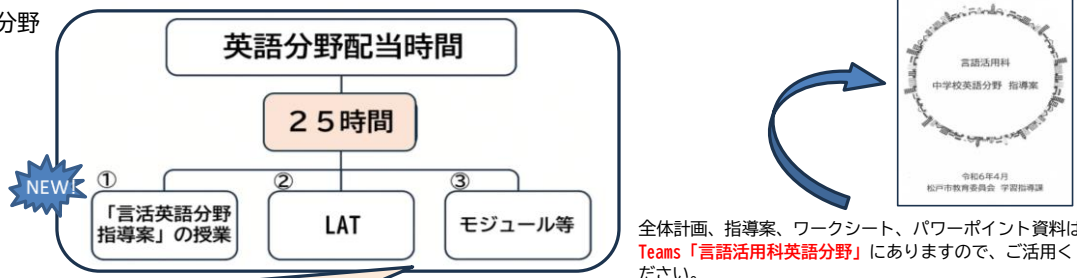
【教材は「Microsoft Teams」で配信しています。】

○山下桂世子先生のアクションと発音の動画入りの教材や師範授業動画もこちらに格納しております。

（チーム名：言語活用科英語分野 チームコード：n2hui5e）

※配布済みの「はじめてのジョリーフォニックス」巻末にあるフラッシュカードも併せてご活用ください。

(2) 中学校英語分野



各学年の英語分野配当時間は『計25時間』とし、外国語科（英語）の授業を充てるか、授業外モジュールの時間を充てる。

NEW!

【授業は以下の①～③の方法で実施する。】

- ※①「**英語活用科 中学校英語分野指導案**」を活用した授業（必修）…●各学年5時間を、外国語科（英語）授業内で担当教員が実施する。
- ※②LATを活用した授業 …●外国語科（英語）授業内で実施する。（1年生9時間、2年生6時間、3年生5時間）
- ③モジュールを活用した授業等…●②LATを活用した授業内容例をもとに、外国語科の授業内で担当教員が実施する。
●モジュールで実施する場合の内容は、英語活用科の目標に準じた課題への取り組みとする。また、外国語科以外の教員も授業展開可とする。

※①「**英語活用科 中学校英語分野指導案**」のテーマと年間目標については以下の通り（各学年5時間分）。

- ・1年生：単語習得の活動
【年間目標】単語習得の方法を知ること、ポキャブラリーを増やし、英語力を高めることができる。
- ・2年生：音読・リスニングの活動
【年間目標】今まで学んできたことをもとに、音読やリスニングなどの活動に取り組むことで、表現の幅を広げよう。
- ・3年生：英語で議論する活動
【年間目標】自分の意見や主張を英語で表現できる。

【②授業内容例】

意：意見を言う 伝：わかりやすく伝えよう 分：分析しよう
考：その人になって考えよう 要：話の要点をとらえよう

対象・指導案No.	※	タイトル	目標（育成したい資質・能力）	基本表現・文法
1年生	1 - 1	意 わかりやすい応答 1	・質問に対して明確に答え、さらに詳細な情報を付け加えることができる。	Do you ~?
	1 - 2	伝 <small>パラグラフ・ライティング 1</small>	・マッピングやブレイン・ストーミングを使って思考を整理し、適切な構成で文章を書くことができる。	can
	1 - 3	分 描写 1	・絵や写真についての説明を聞き、適切なものを選ぶことができる。 ・絵や写真についての説明を聞き、状況を描写することができる。	This is ~. That is ~. It's ~.
	1 - 4	意 質問のしかた 1	・話を聞き、疑問詞を使ってより詳しく情報を聞き出すことができる。	what, where, when, who, how
	1 - 5	意 質問のしかた 2	・話を聞き、疑問詞を使ってより詳しく情報を聞き出すことができる。	what, where, when, who, how
	1 - 6	意 わかりやすい応答 2	・「何をやる予定か」という質問に対して、自分の意見を明確に答え、さらにその理由を付け加えることができる。	to 不定詞
	1 - 7	考 違った見方 2	・1人称や2人称の主語を使った英文を聞いて、概要をまとめ、3人称の主語に変えて表現できる。	三単現のs
	1 - 8	要 再話 1	・物語を聞き、概要を理解して、自分の言葉で話を再現できる。	三単現のs
	1 - 9	分 描写 2	・絵や写真についての説明を聞き、適切なものを選ぶことができる。 ・絵や写真についての説明を聞き、状況を描写することができる。	現在進行形
	1 - 10	要 再話 2	・物語を途中で聞き、その後何が起きるかを推測することができる。 ・物語全体を聞き、話を再現することができる。	現在進行形
	1 - 11	要 再話 3	・原因と結果を区別する【見極める】ことができる。	過去形
	1 - 12	考 違った見方 2	・過去形の英文を読んだり聞いたりして、3人称で表現し直すことができる。	過去形 人称代名詞
	1 - 13	分 描写 3	・絵や写真についての説明を聞き、適切なものを選ぶことができる。 ・絵や写真についての説明を聞き、状況を描写することができる。	There is/are ~.
2年生	2 - 1	伝 <small>パラグラフ・ライティング 2</small>	・構想、下書き、推敲、校正という書くための過程を経て、将来の予定について表現することができる。	will be going to ~
	2 - 2	伝 <small>パラグラフ・ライティング 3</small>	・マッピングやブレイン・ストーミングを使って思考を整理し、適切な構成で文章を書くことができる。	will
	2 - 3	意 わかりやすい応答 3	・Yes / Noの質問に対して明確に答え、さらにその理由を付け加えることができる。	why, because
	2 - 4	意 わかりやすい応答 4	・「どう思うか」という質問に対して、自分の意見を明確に答えることができる。	I think that ~, because ...
	2 - 5	分 分析 1	・数を用いた文章を読んだり聞いたりして、内容を図に表して分析し、結果を読み取り、表現することができる。	比較級、最上級
	2 - 6	分 分析 2	・事実と意見を区別しながら、まとまった文章を読んだり聞いたりすることができる。	比較級、最上級
	2 - 7	考 違った見方 3	・能動態の文を受動態に、受動態の文を能動態にすることで、状況を別の視点から表現することができる。	受動態
3年生	3 - 1	要 再話 4	・物語を聞き、出来事の原因と結果を分析することができる。 ・物語を聞き、話を再現できる。	現在完了形
	3 - 2	要 分析 3	・英文を時系列に整理したり、話の流れに合うように並び変えたりすることができる。	過去形 現在完了形
	3 - 3	要 分析 4	・絵と台詞を分析し、自分の意見を含めた適切な応答を表現することができる。	既習の学習内容
	3 - 4	意 わかりやすい応答 5	・LATとの個別面接を行い、適切に回答することができる。	既習の学習内容
	3 - 5	意 わかりやすい応答 6	・LATとの個別面接を行い、適切に回答することができる。	既習の学習内容

4 教材について

言語活用科の教材はすぐに授業でご活用いただけるよう、パワーポイント資料やワークシートをセットにして用意していますので、ぜひ活用ください。

日本語分野	英語分野
コラボノート 「言語活用科日本語分野」のページ	Microsoft Teams 「言語活用科英語分野」 (チームコード：n2hui5e)

○教材例

日本語分野

【「書く力を鍛えよう」PP スライド】

行事が終わって・・・

「感じたことや考えたことを作文しよう」って……
いきなり言われても書けるわけがないよ……

自分の考えを上手に書くためには、
どうすればよいのだろう。

思いついたことを
とりあえず書く ❌

とにかく
多く書けばいい ❌

【文型（表現に役立つ言葉）リスト】

文型（表現に役立つ言葉）リスト

No.	文型の種類	文型（表現に役立つ言葉）
1	順序づける (じゆんじよ)	まず～次に～、最後に～、 一つ目は～、二つ目は～、三つ目は～、
2	問いかける (といかけ)	なぜ、～だろうか、/~はなぜだろうか、
3	事例をあげる (じれい)	例えば、～
4	課題を指定する (かだい、せってい)	ここでは～について明らかにします、
5	理由をあげる (りゆう)	なぜなら、～だからです、
6	立場をしめす (たちば)	～に賛成(反対)の立場ならば、…、 ～は賛成(反対)です、その理由は～、 ～となった理由は、…と考えられます、 もし～ならば、…となります、 ～になったのは～だからです、
7	仮定する・推論する (かてい すいろん)	

英語分野

【小学校6年生 「同音異綴り」】

4 /ai/と読む部分に線を引いてから読んでみよう

(1) 「a_e」の形になっている単語

【中学校3年生 Let's have a mini debate! 】

賛成・反対意見の言い方を練習しよう!

【Topic】

Junior high school students should read
a newspaper every day.

What do you think and why?

5 言語活用科の時数の扱いについて

		小学校 1年生	小学校 2年生	小学校 3年生	小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生
日本語分野	時数	3時間	3時間	3時間	3時間	5時間	5時間	5時間	5時間	5時間
	充てる 教科	国語科	国語科	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間
英語分野	時数	6時間	7時間	3時間	3時間	3時間	3時間	25時間	25時間	25時間
	充てる 教科	生活科	生活科	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	総合的な 学習の 時間	外国語科	外国語科	外国語科

6 今後の方向性について

次期学習指導要領を見据え、見直しを行っています。

- ◆「言語活用科の目標」「育成能力の柱」等を整理し、言語活用科の充実を図ります。リニューアル版での実施は、令和9年度からですが、令和8年度においても、以下の資料の内容を意識しながらの指導をお願いします。

育成能力の見直し

目的の形骸化を改善するため、次期学習指導要領を見据え、見直す

【目指す児童生徒の将来像】
論理的・批判的思考力やコミュニケーション能力を身につけ、多様化する社会で活躍できる児童生徒
※多様化・・・グローバル化、デジタル化、多文化共生等を含む

【言語活用科の目標】
言葉を使って思考を組み立て、他者と協働して新しい価値を生み出す力を育む

育成能力と柱

言葉を使って思考を組み立て、他者と協働して新しい価値を生み出す力を育む

分析する 情報を読み解き、価値づける ・批判的思考力 ・再構成する力 見たことをよく考えて大事などところを見つける	組み立てる 言葉で思考を組み立てる ・論理的思考力 ・問いを立てる力 言葉を使って考えることができる	協働する 他者と共に新たな価値を生み出す ・表現力 ・対話力 ・合意形成力 友達と一緒に新しい考えを見つける
--	---	--

日本語分野 教科の魅力化

- 系統図(表)、評価テストの作成
小中9年間の学びの連続性を明確化
他教科等での継続した育成
評価の明確化
- 目指す育成能力に合わせた内容の更新
・指導案
・ワークブック
・教材(PP)
- 広報活動

グランドデザイン案

伝わりやすく 親しみやすく

日本語分野
英語分野

小中9年間を通した「ことばの教育」

- ・系統性
- ・小中のつながり
- ・他教科等での育成意識化

◆令和8年度変更点

以下については、令和9年度の変更を見据え、令和8年度より変更します。

<日本語分野>

- ①小学校では、当該学年の日本語分野の授業を4～6月に完了させてください。年度の早期に行うことで、その後の各教科等の学習において、言語活用科の学びを活用する機会を確保し、知識・技能の定着を目指してください。
- ②中学校は、令和9年度よりプログラムを大きく変更する予定です。令和8年度については、現行の学習内容や各学校の実態に合わせて実施時期をご検討ください。ただし、各教科等で活用するためにも、できる限り年度の早期に実施するようお願いいたします。

<英語分野>

- ①中学校では、言語活用科指導案での授業(各学年5時間分)を必修化し、25時間分の授業計画について、考え方を更新します。令和9年度以降の時数の見直しを視野に入れています。詳しくは、4月に実施予定の「小中学校英語・言語活用科英語分野主任会」で説明します。

中学校英語分野 内容の見直し → 時数の見直し

現状
①LAT活用
②モジュール
③英語授業内
計する時間

- ・言語活用科指導案(TESOL)に沿った授業を必修化
※各学年5時間分 ※導入でジョリーフォニックス復習
※英語担当教員が実施
- ・LAT配置日は、「学習内容例」をもとに授業を実施。
※1年9時間 2年6時間 3年5時間
※LATが実施 ※指導案あり ※内容の選択は英語教員
- ・モジュールを活用した授業
※言語活用科の目標に準じた課題への取り組み
※英語担任外が実施可